



インフルエンザは、インフルエンザウイルスがのどや気管支、肺で感染・増殖することによって発症する病気です。

## <感染経路>

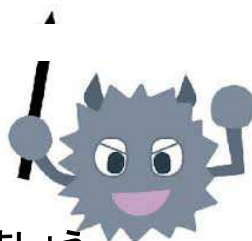
インフルエンザに感染した人の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるインフルエンザウイルスを吸い込むことによって感染します。

## <症状と経過>



## <日常的な予防>

- 1) 手洗いとうがいを習慣にしましょう。
- 2) 外出時にはマスクを着用しましょう。
- 3) 十分な休養とバランスの良い食事で、体調管理を行いましょう。
- 4) 室内では、加湿器を使用して適度な湿度(50~60%)に保ち、1~2時間に1回は換気を行いましょう。
- 5) 人混みへの外出は控えましょう。



## <治療薬>

当医院では、インフルエンザ薬は希望するお薬を選んで戴いています。お薬選びのポイントは「しっかり服用ができること」です。

服用しやすい製剤を選ぶことが大切です。

\* 今年からイナビル吸入懸濁用セットが発売になります。ネブライザー吸入器が付属されています。ネブライザー式のため、5歳未満の小児や高齢者など吸入力が弱い方が対象となります。

詳しくは医師に確認して下さい。

## 年齢による抗インフルエンザ薬選択の目安

	タミフル	リレンザ	イナビル	ラピアクタ	ゾフルーザ
	内服薬	吸入薬	吸入薬	点滴薬	内服薬
0~生後2週	×	×	×	×	×
生後2週~5歳未満	◎	×	△	●	△
5~15歳未満	◎	○~◎	○~◎	●	◎
15歳以上	◎	◎	◎	●	◎
予防投与	○	○	○	×	×

◎推奨 ○使用可 △勧めない(吸入や服用の問題) ×使用不可 ●考慮

## <予防接種>

- 1) 10月~遅くても12月末までに接種をしましょう。
- 2) インフルエンザワクチンの有効率は70%です。接種をすることにより重症化を軽減してくれます。

早めにインフルエンザワクチンを接種しましょう。

